

令和4年度市政懇談会で出された質問・意見等に対する市の回答

市政懇談会に参加いただいた皆さんが、水色の付せんに記入いただいた内容「もっと詳しく聴いてみたい取組や、疑問に思ったこと」のうち、特に多くの質問・意見等をいただいたテーマに対する市の回答を掲載しています。

なお、いただいた全ての質問・意見等は、各部署に共有させていただき、今後の取組の参考とさせていただきます。

項目	テーマ	市の回答	担当部署
3 つ の C	天浜線時代の取組	<p>【市長】</p> <p>「鉄印帳、石の缶詰」について、御朱印帳等はどこでもフリーに書くことができます。鉄印帳は全国40社の鉄道会社が、このページにはこの鉄道会社を書くことと定められており、全部集めた方にはマスターカードがプレゼントされるなど、鉄道好きの方が全部コンプリートしたくなるような仕組みとなっています。中には5周回った人もいるという話も聞いたことがあります。石の缶詰について、鉄道の石ですが、実は昭和40年代以降が角ばった石で、それより前は丸石だったそうです。天浜線はお金がなかったため全部丸石です。ですから、鉄道好きの方にとっては、丸石に価値があるようです。また、缶詰の上に石を飾れるようにすることで、1人2缶買っていただき、一つは保存用、一つは飾り用となるなど、ちょっとした工夫で売り上げが伸びました。同じような発想を市政にも活用していきたいと思っています。</p>	企画財政部
3 つ の C	行政は最大のサービス業	<p>【総務部長】</p> <p>「行政は最大のサービス業」については、接客で評価の高いたこ満と連携協定を締結し、職員研修を行っています。研修は、令和3年度末に部長や課長など、管理職50名ほどが受講しました。令和4年度は、その他の職員262名を対象に、たこ満の接客トレーナーをお迎えし、研修を実施したところです。次年度以降もこうした取組を継続する中で、「サービス業並みのおもてなし」、たこ満のおもてなしに近づけるよう取り組んでまいります。今後は、市役所の中に接客リーダーを設けたいと考えていますし、たこ満の方でお許しいただければ、職員が店頭で研修する機会をいただければと考えており、全庁を挙げて皆さんに「市役所少し変わったね」とおっしゃっていただけるような取組を継続してまいりたいと考えています。</p>	総務部
3 つ の C	行政は最大のサービス業	<p>【市長】</p> <p>「縦割り行政で相変わらずたらい回しがある」について、縦割りの状況が実際まだあるのではないかと思います。日ごろから、横軸を通しましょうと言っています。縦割りだけだと事業が進まない。例えば観光1つとっても、お茶の話、文化の話、スポーツの話、農業の話など、全部含めて観光になる。いろいろな部署にまたがる話だから自分たちには関係ないという考えはやめるよう職員に伝えています。組織的にも連携調整室の職員が各部にあり、所属を超えた連携を進めています。このような取り組みも少しずつ前へ進めてまいりますので、よろしくお願いいたします。</p>	総務部

項目	テーマ	市の回答	担当部署
3 つ の C	行政は最大の サービス業	<p>【市長】</p> <p>「作業改善10カ条が市職員に浸透していない」について、すぐに全ての職員に浸透させることは、なかなか難しいと感じています。以前、作業改善10カ条を民間企業の方に紹介させていただいたところ、必要な考え方と社内でも共有いただきました。実際、この改善を全てやろうとすると、どの組織でも浸透するには相当な時間が必要であり、簡単ではないと思います。市役所においても、このような考え方が職員に浸透していくよう、様々な機会を活用して意識づけしており、少しずつ理解してくれてくれる職員も増えてきたと感じています。ぜひ、市民の皆様にも温かく見守っていただければと思います。</p>	総務部
3 つ の C	行政は最大の サービス業	<p>【総務部長】</p> <p>「たこ満との協定、その成果をどの程度評価しますか」について、本当に気持ちの良い接客・接遇で定評があるたこ満さんと令和4年6月に協定を結ばせていただき、ノウハウを学ばせていただいています。すぐに評価をいただけるような簡単なものではないと認識していますが、市民の皆様からの声が評価に繋がっていきますので、市民の皆様の声を把握していきたいと思っています。職員の挨拶や応対など、一部でお褒めの言葉をいただくこともあります。当然お叱りのお話をいただくこともあります。今後も継続して取組を進め、たこ満様からお許しいただければ、市の職員がたこ満店頭でお客様の対応をするようなこともやっていきたいと考えています。また、市職員の中にも接遇トレーナーを養成し、全体の底上げをしていきたいと考えています。</p>	総務部
3 つ の C	移住・定住の取 組	<p>【企画財政部長】</p> <p>「移住に向けての取組」について、これから人口が減っていく中で、菊川市としてどのように若い世代を確保するか、転入していただくか、本当に大きな課題の一つと認識しています。具体的にどのようにアピールしていくかですが、まずは菊川市を知ってもらうことが重要であり、SNSを活用してまちの話題や魅力を積極的に情報発信したり、「茶畑の中心で愛を叫ぶ」などインパクトのあるイベントを開催しアピールしたりすることが大切であると考えています。また、若い世代がどのようなところへ移住したいかという、程よい田舎であることと、やはりある程度の利便性は求められます。そういう意味では、駅があるということは、非常に大きなアピールポイントになります。こうした菊川市の魅力や暮らし、各種支援制度などをまとめたパンフレットがありますので、東京で開催される移住相談会で配布したり、移住センターに配架したりするなどのPR活動も実施しています。当然、住んでいただくためには、働く場所の確保も必要ですので産業支援の実施や、若い世帯が住宅を建てた際の補助金、新規に婚姻した世帯への転居費用や居住費の支援等も実施しています。こうした取組を総合的にPRしながら、移住者・定住者を増やしていけるよう取り組んでまいります。</p>	企画財政部

項目	テーマ	市の回答	担当部署
3 つ の C	移住・定住の取組	<p>【企画財政部長】</p> <p>「実際に移住した時のメリットは何か」について、移住した際のメリットとして、条件はありますが東京圏から菊川市へ移住された方には、国・県と合わせて単身移住の場合60万円、世帯移住の場合100万円を補助する制度があります。様々な条件がありますが、まずはこのような制度があることと併せて、菊川市を知ってもらうことが一番の課題と思っています。</p>	企画財政部
3 つ の C	移住・定住の取組	<p>【総務部長】</p> <p>「移住者を受け入れる自治会への支援は具体的に何か」について、市内には県内他市から移住された方や、県外から移住された方が多くいらっしゃいますが、地域の皆さまに優しく受け入れていただき、少しずつ地域に馴染んでいる事例をお聞きしており、本当にありがたいと感じています。移住者を呼び込むための自治会に対する支援等について、今現在目に見える制度等は設けておりません。移住された方が、少しでも早く地域に馴染み、地域の一員として自治会等の活動に参加いただけるよう、コミュニティ活動の支援等に取り組んでまいります。</p>	総務部
3 つ の C	移住・定住の取組	<p>【企画財政部長】</p> <p>「大学生、専門学生等が地元に戻るような具体的事業は」について、市外・県外に出た大学生や専門学生が、いつか郷土に帰ってきていただくためには、やはり、郷土に愛着をもっていただくということが今の段階では必要と考えています。例えば、小学生の授業に出前講座として市の職員が出かけ、まちづくりについて説明させていただき、小学生がまちづくりについて考える機会づくりを行っています。中学生には将来働く場所が菊川市内にもたくさんあることを知ってもらうため、金融機関や農業関係者など、様々な分野の方をお呼びして仕事の魅力をお話いただいたりしています。こうした取組の中から、少しでも将来菊川に帰ってきたいと思う若い世代を増やし、少子高齢化の中でも人口確保していくための事業として進めています。また、市議会が主体で「こども議会」を開催していますが、この中でも、一定期間まちづくりについて考えてもらうといった体験が、郷土への愛着を育てることに繋がっていくのではないかと考えています。</p>	企画財政部

項目	テーマ	市の回答	担当部署
3 つ の C	移住・定住の取組	<p>【企画財政部長】</p> <p>「移住者は静岡県東部希望が多い、菊川市に移住希望者を多くするためには」について、静岡県をあげて東京都内で開催する移住相談会がありますが、菊川市の魅力や暮らし、各種支援制度などをまとめたパンフレットを配りながらPRを行っています。パンフレットの中には、若い世帯が住宅を建てた際の補助金や、新規に婚姻した世帯への転居費用や居住費の支援等を紹介しているほか、菊川に県外から移住してきた方のインタビュー記事を掲載し、菊川の魅力をPRしています。関東圏から見ると新幹線が止まる熱海や三島は人気があると思いますが、もう一步、菊川まで足を延ばしてもらうためには、ある程度の利便性は求められると思います。交通のアクセスもいいというところでは、県内でも優位なところがあると思いますが、そこに加えて、自然がいっぱいや農業が盛んななどの特徴に加え、地価が安いなどの住環境を含めて、しっかりPRしていく必要があると思っています。</p>	企画財政部
3 つ の C	効果的な情報発信	<p>【市長】</p> <p>「市長より説明がありましたが半分くらいしか知らなかった。もっと市民にアピールをしてほしい」について、現在SNSやdボタン情報サービスを活用し、積極的な情報発信に努めています。私（市長）個人のインスタグラムやツイッター、フェイスブックなどのSNSで多くの情報を発信しています。広報紙にも、説明した内容の全部ではないが、かなり載せていますが、それでもまだ届いていないのが現実だと思います。「情報発信・広報はいくらやってもきりはない、足りない」と考えている。今後も多くの方に情報が届くよう、新聞もテレビも活用し、頑張っアピールしていきます。また、市公式LINEでは日々、多くの情報を発信していますので、皆さまもぜひ登録していただけるとありがたいです。また、嫌でなければインスタやツイッターなどにも挑戦していただけると嬉しいです。</p>	企画財政部
3 つ の C	茶畑の中心で愛を叫ぶ	<p>【市長】</p> <p>「茶畑の中心で愛を叫ぶ期待される効果は」について、一過性のイベントで終わらないよう、「会場に記念となるモニュメントを置けないか」や、「皆さんが写真を撮りたくなるようなことができないか」等を現在、検討しているところです。このイベントは1年で終わるものではなく、続けていく中で多くの方に認知していただければと思います。また、令和4年度は菊川市手話言語条例推進委員会の皆さんが、手話を交えて「まちへの愛」を叫んでいただいたことにより、「ひとに優しいまちきくがわ」「誰もが暮らしやすい菊川市」をアピールすることができました。今後、このイベントがどのような化学反応をおこすかは、情報発信の仕方にもかかっています。少し時間がかかるとは思いますが、大事に育てていきたいと思っていますので、ぜひ応援していただければと思います。</p>	企画財政部

項目	テーマ	市の回答	担当部署
3 つ の C	茶畑の中心で愛を叫ぶ	<p>【市長】</p> <p>「知らない市民が多いと思います。もっと知らせてください」について、「茶畑の中心で愛を叫ぶ」は、イベント当日だけでなく、企画段階からさまざまな方法で多くの市民の皆さんに参加いただきたいと考え、事前の企画会議についても、SNSなどを活用し広く参加を呼びかけました。また、当日の様子は広報紙に掲載したほか、中日新聞や静岡新聞、NHKなどでも大きく取り上げていただきました。令和5年度の開催に向けては、より多くの皆さんに知っていただけるよう、周知・広報に努めてまいります。</p>	企画財政部
コ ロ ナ 対 策	新型コロナ対策	<p>【企画財政部長】</p> <p>「コロナで使った90億の内、国お金はいくらか。市の負担はどれくらいか」について、新型コロナウイルス感染症対策として、これまでに約90億円の予算を計上しました。予算の多くは、ワクチン接種等を含めて国からの補助金・交付金で賄っています。例えば、市民4万8千人に対して1人10万円を給付した特別定額給付金では、48億円全て国の財源です。その他、子育て世帯に対する給付金や、プレミアム商品券なども、多くが国の財源です。国から人口規模等に応じて交付金が交付されるため、その時々に応じて、産業支援や世帯への給付など、こういったところに支援をするべきかを見極めながら予算配分しています。</p>	企画財政部
コ ロ ナ 対 策	感染予防対策	<p>【健康福祉部長】</p> <p>「新型コロナ感染予防に、市の感染者数広報してほしい」について、コロナ感染者数の発表について、令和4年9月26日から全国一律で、感染症法に基づく医師の届出（発生届）の対象が65歳以上の方や入院を要する方などに限定されました。これに伴い静岡県では、市町別の新規感染者数等の毎日の公表項目について変更するとともに、週1回公表する項目を新たに設けることになりました。このため、菊川市においても、毎日の感染者情報の公表を終了し、週1回静岡県から公表される内容について、市ホームページに掲載しています。</p>	健康福祉部
コ ロ ナ 対 策	感染予防対策	<p>【健康福祉部長】</p> <p>「ウイルス等を学ばれている先生を招いて講演会などしていただきたい」について、新型コロナ対策としてウイルスに関する講演会を企画したことはありませんが、感染症予防に関する出前行政講座を菊川病院で実施しています。菊川病院に感染症専門の看護師さんがいらっしゃいまして、感染症予防について非常に分かりやすくお話いただけます。感染症予防という観点でしたら、出前行政講座をご利用いただければと思います。</p>	健康福祉部

項目	テーマ	市の回答	担当部署
コロナ対策	感染予防対策	<p>【健康福祉部長】</p> <p>「マスクをする必要について、外す時期を伝えてほしい」について、静岡県がマスク着用が不要な場合等を公表しており、ホームページ等で確認することができます。基本的には屋外で近くで会話をしなければマスクは不要となっています。屋内で人との距離を確保できない場合は、やはりマスクは大事です。会話等により飛沫が飛ぶことが感染に繋がるようですので、近くで会話する場合は今のところまだマスクが必要です。また、手洗いとか、手指消毒などの感染予防もまだまだ欠かせない状況です。インフルエンザもそうですが、一般的な感染予防が一番の対策になると言われています。長い期間ずっと予防されていると思いますが、今のところは一般的な感染予防を続けていただくことが大切と考えています。</p>	健康福祉部
コロナ対策	感染予防対策	<p>【健康福祉部長】</p> <p>「まだコロナが終息していないのでイベントの開催は少し控えた方が良いのではないか」について、イベント開催につきましては、菊川市でも産業祭を3年ぶりに開催しました。また、地域住民主体の地域づくりイベント「地区センターまつり」も市内各地で開催されましたが、状況としては、まだまだ感染が心配な状況ではあります。イベント開催につきましては、以前のような開催を制限する基準等はありませんが、基本的には3密の回避や、会話する場面がある場合には必ずマスクを着用する、アルコール消毒する、体調が悪い場合には休むなど、基本的な感染予防対策をしながら、気をつけて開催していただくこととなります。参加人数が5,000人を超える場合など、県に感染防止安全計画の提出などが必要となりますが、地域で実施する場合、そこまでの人数とならないと思いますので、感染予防対策をしたうえで開催いただくことになるかと思います。</p>	健康福祉部
コロナ対策	ワクチン接種	<p>【健康福祉部】</p> <p>「ワクチン接種」について、現在オミクロン株に対応する二価ワクチンというものを市では扱っています。感染予防対策として、ご自身を守るという意味でも、差し支えなければワクチンを打っていただきたいと思います。現在、集団接種と個別接種がありますので、ワクチンセンターの方にご相談いただければと思います。</p>	健康福祉部
コロナ対策	ワクチン接種	<p>【健康福祉部】</p> <p>「今後のワクチン接種は」について、ワクチン接種につきましては、対象の皆さんに随時ご案内を送らせていただいております。なお、令和5年4月1日以降のワクチン接種につきましては、現時点で国からの説明がありません。状況が分かり次第、ホームページ等でお知らせさせていただきます。</p>	健康福祉部

項目	テーマ	市の回答	担当部署
安全・安心	水道水の断水・水圧低下	<p>【生活環境部長】</p> <p>「水道管事故の真の原因は何だったのか」について、5月20日から23日にかけて、西方地内の水道管破損により広範囲で断水・水圧低下が発生いたしました。市民の皆様には、大変ご迷惑とご不便をおかけし申し訳ございませんでした。原因につきましては、水道管の老朽化と、交通量増大による管接合部が破損したことと考えています。水道管が設置された当時と道路の状況が大きく変わっており、交通量が増加したことにより荷重が増大したものと考えます。</p>	生活環境部
安全・安心	水道水の断水・水圧低下	<p>【生活環境部長】</p> <p>「水道工器具体的な計画」について、まず、原因となった箇所の対策ですが、破損箇所の排水管の更新工事につきましては、9月に補正予算を計上させていただき、富士工業の入り口付近から日東工業の付近まで延長およそ500mの区間の工事に着手します。また東側の残り部分、ホンダカーズ付近につきましては、今年度に測量設計を実施し、令和5年度に入り次第速やかに工事を実施する計画です。また、水道管の更新計画について、令和5年度に見直しを予定していましたが、半年ほど前倒して今年度から着手しています。特に大きなポイントは、今回の断水事故の現場の状況を見まして、道路状況が水道管を敷設した時点より大きく変わっている場所や、漏水の多発箇所等の調査を行いながら、今後5年間の更新計画を見直してまいります。この計画に基づいて今後も更新工事を実施してまいります。</p>	生活環境部
安全・安心	台風15号災害	<p>【建設経済部長】</p> <p>「台風15号の復旧状況、概ねいつごろ元に戻りそうか」について、台風15号による災害復旧状況ですが、生活道路の土砂撤去等は早急に対応させていただきました。復旧工事が必要な箇所につきましては、年内に発注の準備をし、年が変わったくらいから現場着手し、年度内には完成できるように進めていきたいと考えています。最も被害の大きかった高橋地内の市道東173号線につきましては、国の補助事業を活用しますので、国の査定等が行われた後に工事発注します。規模が非常に大きく、復旧工事にも数カ月かかる予定ですので、令和4年度から令和5年度にかけて復旧する形になると考えています。</p>	建設経済部
安全・安心	台風15号災害	<p>【建設経済部長】</p> <p>「道路が浸水しバリケードを置きました。危機管理課へ何度も連絡したがつながりませんでした」について、地域の皆さんにはバリケードの設置等にご協力をいただき本当にありがとうございます。大雨の際には、建設経済部の職員を中心に被害箇所の把握や危険箇所へのバリケード設置等を行っていますが、職員だけでは対応しきれないケースもあります。引き続き、皆さまにも安全に注意いただいたうえでご協力いただければと思います。また、台風の当日、電話がつながりにくい状況であったとのことで申し訳ございません。災害時には情報収集を担当する職員を配置して対応しておりますが、一時的に回線が混雑してつながりにくい時間もあったと思います。時間をとおしてお電話いただくなど、引き続き情報をお寄せいただきますようお願いいたします。</p>	建設経済部 危機管理部

項目	テーマ	市の回答	担当部署
安全・安心	災害対策	<p>【建設経済部長】</p> <p>「排水路の見直し・改修」について、各地区にある水路につきまして、改修しなければならないところは多数あるかと思えます。それぞれ国・県・市で連携をとりながら、水害対策が特に必要な箇所から改修等を進めてまいります。水路の改修等、ご要望ありましたら、まずは市の方にご相談をいただきたいと思います。</p>	建設経済部
安全・安心	災害対策	<p>【生活環境部長】</p> <p>「災害発生時の水の確保。井戸の必要性をどの程度認識しているか」について、菊川市は97%を大井川広域水道企業団から受水しており、自己水源は3%程度になります。災害が起きた時の水源確保につきまして、まずは大井川広域水道企業団からの受水が確実に行われることを大前提に考えています。ただ、台風15号時の静岡市のように受水設備が被災し、企業団から受水できなくなった場合は、日本水道協会相互連携協定を結んでおりますので、緊急時には他市に支援を要請することとなります。また、市内の施設の維持管理についても、市上下水道組合さん、また、施設を日頃から維持管理していただく業者さんに早急な修理を依頼することとなります。また、今お話した以外にも、災害時の相互支援協定を締結している自治体からの個別支援を考えていくこととなります。それから、市内には100トン級の地下埋設の飲料水に使用できるタンクも保持しておりますので、そちらを活用することとなります。井戸の必要性に関する問いではありますが、まずはきちんと水道水の安全性を確保していきたいと考えています。</p>	生活環境部
安全・安心	消防	<p>【消防長】</p> <p>「消防団員確保」について、消防団につきましては全国的に団員が少なくなっている現状です。その中で、菊川市消防本部としては活動環境の整備として、出動手当の見直しや、準中型免許補助制度の創設等に向けて検討を進めています。その他、どのような支援ができるのか、消防団員の皆さんの意見を聞きながら必要なことがあれば、協議を進められるようにしています。また、消防団活性化検討委員会という組織があり、委員の皆様にご協力いただきながら、消防団員の確保に努めてまいります。消防団は地域防災の要であると考えているので、消防団が活性化できるよう取り組んでまいります。</p>	消防本部
安全・安心	大井川の水問題	<p>【市長】</p> <p>「大井川の水問題」について、菊川市では大井川の水が水道水の97%を賄っており、農業用水、工業用水にも利用される非常に大切な水であり、水量と水質、安全な水の確保について強く求めているところです。実際には、流域の焼津から袋井までの10市町が連携をとりながら、JR東海や静岡県への要望を行っています。リニア中央新幹線の工事そのものを反対するのではなく、大井川の水量・水質をちゃんと守ってほしいということを常々要望しているところです。工事の工法など、詳細な部分はまだ詰まっていないところがありますが、流域の各市町で協力して要望し、水を確保するという活動に繋げていくことが必要であると考えています。</p>	企画財政部

項目	テーマ	市の回答	担当部署
産業	観光振興	<p>【建設経済部長】</p> <p>「NHK大河ドラマ「どうする家康」が放映され、大きな経済効果が期待される。菊川市の取組内容と一過性で終わらないような対応策は」について、「どうする家康」の関係ですが、小菊荘のところにある「獅子ヶ鼻砦」が関係しますが、ここ一つだけでPRするのはなかなか難しいと考えています。掛川市など、西部地域で連携してPRを実施していきたいと思っています。今年度「おひざもと市」というイベントを開催していますので、ぜひ皆さんにもお出かけいただきたいと思います。</p>	建設経済部
産業	観光振興	<p>【建設経済部長】</p> <p>「小菊荘の整備。子どもたちが安心して遊べる環境をぜひ作って」について、令和4年度は、「獅子ヶ鼻砦」を皆さんにより知っていただくように、新たな看板の設置や、登っていく道の補修工事等を実施しています。また、蓮池公園にベンチを設置させていただいたり、来年度は、大きくなった樹木の伐採等を行い、なるべく明るく、小さなお子さんにも利用していただけるよう整備を進めてまいります。</p>	建設経済部
産業	農業政策	<p>【建設経済部長】</p> <p>「農家の方々への補助金や農業の取組、セミナーなどをより詳しく教えてほしい」について、農家の皆さんへの補助金やセミナー等につきましては、市広報紙やホームページで紹介しておりますが、「自分はこんな作物を作ってるが規模を拡大したい」など、より具体的な質問につきましては、ぜひ農林課にご相談いただければ、個別に対応させていただきます。また、JAさんの方で農業をやりたい人への指導等も行っていますので、活用いただければと思います。</p>	建設経済部
産業	農業政策	<p>【建設経済部長】</p> <p>「今、農家はどれくらいいるのか」について、令和2年の数字ですが、兼業農家が678戸、専業農家が249戸、あわせて927戸です。これは昭和の終わりから平成の初めぐらいですと、併せて3,000戸以上であったものが、現在は1,000戸を切る状況となっています。</p>	建設経済部
産業	茶業振興	<p>【建設経済部長】</p> <p>「茶業についてどのように取り組んでいるか、効果など聞きたかった」について、今年度、新しい茶業振興計画を策定させていただきました。その中で、生産や流通、文化などの分野で、それぞれ専門的なところで検討していただいています。特に、高齢化等の影響で担い手が少なくなる中、多くの農地を守っていかなければなりませんので、作業の効率化等を進めていかなければなりません。また、有機栽培が注目を浴びていますので、有機栽培の推進や海外へ輸出などを検討しています。どうしてもお茶の消費が冷え込んでいるのが現状ですので、若い世代の方にも手にとってもらいやすいような新たなパッケージも作り、これまでのちゃこちゃんのパッケージと併せて、宣伝していきます。</p>	建設経済部

項目	テーマ	市の回答	担当部署
さらに前へ！	人口増加	<p>【企画財政部長】</p> <p>「地域社会を支える人、世代が少なくなっているように思います。妙案はありませんか」について、平成27年から令和2年まで、菊川市の人口は増加しておりましたが、新型コロナの影響もあり、ここ数年は少し減少傾向にあります。菊川市の人口を推計した人口ビジョンでは、およそ40年後の2060年には、現在の48,000人から31,000人くらいまで減少すると推計されています。このような状況の中、それぞれの自治体が計画を作り人口減少対策に取り組んでおり、菊川市の場合、推計の31,000人を36,000人で維持しようと、さまざまな取組を進めています。例えば、菊川駅北側の開発により新たな居住区域を作ったり、若い世代の定住につながる補助金を出すとか、子育て世代への支援策などを実施し、菊川に住んでもらう人を増やすことができるよう取り組んでいます。菊川市でも少子高齢化対策に取り組んでいますが、全国の市町が同じ状況ですので、公共交通機関などの利便性や、豊かな自然など、菊川の良いところをPRしながら、菊川市が存続できるようなまちづくりを計画的に進めてまいります。</p>	企画財政部
さらに前へ！	人口増加	<p>【総務部長】</p> <p>「人口増2.3%の内、外国人はどれくらいか」について、平成27年の国勢調査から令和2年の調査までの5年間で2.3%、1,026人が増加しています。そのうち外国人住民の増加は1,286人ですので、日本人住民が若干減って、外国人住民が増えているというのが実情です。市としては外国住民も大切な菊川市民と考えており、多文化共生の取組を進めております。</p>	総務部
さらに前へ！	人口増加	<p>【企画財政部長】</p> <p>「ここ10年で約1,200人日本人が減少していますが、どうお考えでしょうか」について、菊川市の合計特殊出生率は直近で1.67ということで、2を超えないと人口維持はできないと言われていました。そういった中で、菊川市の令和2年までの5年間の人口増加は、やはり外国人住民が大きな要因であります。外国人住民も市民の一人で、地域の労働者でもあり、住民ですので、日本人と同じように考えています。令和2年までの5年間で、日本人が増えているのは県内で長泉町だけと記憶しており、全国で日本人は減少しています。このような中で、労働者として、あるいは消費者として、外国人住民も一緒になってこの地域で暮らしていくということが必要ではないかと考えています。</p>	企画財政部

項目	テーマ	市の回答	担当部署
さらに前へ！	人口増加	<p>【企画財政部長】</p> <p>「菊川市人口2.3%増だが人口減少している地区もある。菊川市全体が人口増加するための施策は」について、令和2年の国勢調査では、菊川市は人口が2.3%増加しました。市の中でも、加茂地区や町部地区、平川地区など、利便性の高い地区は人口が増加していますが、他の地区では人口が減少しています。報道などで、新型コロナウイルス感染症の影響で結婚する方が減っていると言われてますし、令和4年の出生数も年間で80万人を下回るという話もあります。このような中で、やはり菊川においても、令和2年までの状況と変わって人口の減少や、出生数の減少が続いています。このような状況に対し、国としてもいろんな支援を行っていますが、菊川市としましても、結婚新生活支援事業費補助金や、若い世帯が家を建てたときの補助金、首都圏からの移住者に対する補助金などを実施しています。また、保育環境の整備や医療費助成なども実施し、子育てしやすい環境づくりを行い、人口の確保につなげていきたいと考えています。</p>	企画財政部
さらに前へ！	菊川駅南北自由通路整備事業	<p>【建設経済部長】</p> <p>「菊川駅南北自由通路整備事業のスケジュール」について、令和4年度から仮設工事に着手します。南北自由通路本体の工事は、令和6年度、7年度の2か年をかけて行い、令和7年度末には北側に抜けるというような計画で進めてまいります。その翌年の令和8年度に駅の北側広場を整備する計画です。令和4年度の仮設工事の関係ですが、令和5年2月から6月くらいにかけ、仮駅舎をつくるためのヤードの整備をさせていただきます。仮駅舎は今の駅舎の西側に少し空いているところがありますが、そちらに仮駅舎を作ります。そして、仮駅舎を令和6年2月から使用する計画です。東側のロータリーにつきましては、令和5年9月くらいから、工事ヤードを置くために閉鎖をさせていただきます、3年間ほど使えなくなります。駅の工事に大型の重機が入りますので、こちらを工事ヤードとして使わせていただくと一般車の乗降ができなくなります。今のところ、西側にある交番北側の道路を仮の乗降所というような形で考えています。3年間という長い間、本当にご迷惑をおかけすることになりますが、御協力をお願いいたします。市民の皆さんへのお知らせにつきましては、12月の広報紙に仮駅舎工事のお知らせを掲載しています。また、段階を追って広報や公式SNS等を活用し、情報をお伝えさせていただきます。</p>	建設経済部
さらに前へ！	菊川駅南北自由通路整備事業	<p>【建設経済部長】</p> <p>「駅北開発」について、土地所有者代表者による事前打合せ、土地所有者に対する土地の考え方アンケート等を行い、本年度に土地所有者や自治会等から組織する研究会を立ち上げました。研究会を中心に情報を共有しながら、駅北まちづくりの研究・検討を進めていきます。目標としましては、南北自由通路整備事業が令和7年度末には開通しますの、その時期を目標に検討を進めていければと考えています。事業の効果やメリットにつきましては、駅周辺の開発に伴い、将来的な人口減少を抑制することができれば、駅北開発は市域全体に対して効果があるのではないかと考えています。</p>	建設経済部

項目	テーマ	市の回答	担当部署
さらに前へ！	菊川駅南北自由通路整備事業	<p>【建設経済部長】</p> <p>「障がい者への配慮がされているか」について、基本的にはユニバーサルデザインに配慮した中で、様々な施設を整備します。エレベーターやエスカレーターの設置、音声だけでは聞こえない場合もありますのでモニターの設置なども計画しています。これ以外にも、市の福祉担当や関係者のご意見もお聞きしたうえで進めていきたいと思っています。</p>	建設経済部
さらに前へ！	掛川浜岡線バイパス	<p>【建設経済部長】</p> <p>「掛川浜岡線バイパス西方～加茂早期実現を」について、現在進めている掛川浜岡線バイパス赤土高橋工区を令和5年度から6年度の2年で開通をさせたいと考えています。その後に菊川の北側部分になりますが、現在、菊川運動公園のところで止まっている状態です。令和2年度に都市計画決定の変更を行い、つま恋の辺り、掛川市との境に後山トンネルがありますが、そこまで結ぶルートに変更しました。今後、この事業化に向けた様々な協議等を行いますので、いつ着手して、いつ開通できというお話は今の時点ではできません。毎年、掛川浜岡線バイパス期成同盟会で、県に要望を行っています。本年度も西方方面の早期実現ということで要望させていただきました。県からは、小笠の方の目途が立ってきたため、西方についても、研究を進めていく必要があるという返事もいただいておりますので、早期の事業着手に向けて、進めてまいります。</p>	建設経済部
さらに前へ！	青葉通り嶺田線	<p>【建設経済部長】</p> <p>「青葉通り嶺田線のスケジュール」について、建設課が担当する道路事業と都市計画課が担当する街路事業の2つの事業で進めてまいります。まず道路事業ですが、ポエム新月さんのところから東に向かって380mを建設課が担当する道路の区域になります。それより東側、橋を渡って掛川浜岡線の交差点を越えて、コメリさんのあたりまでの区間570mを都市計画で担当します。小松洗橋の整備について、まず街路事業は来年度、国の事業認可を受け、国の補助事業を活用して実施できるよう進めてまいります。令和6年度から用地補償等を行い、令和8年度に現在の小松洗橋の南側に人が通れる仮設橋を設けさせていただきます。その後、現在の橋を撤去し、予定では令和10年度に橋の土台になる部分の工事を、令和12年に橋上部の工事を進め、令和15年度に完成させる計画です。建設課の道路事業につきましては現在、用地測量等を実施しておりまして、来年度から用地補償、道路の拡幅工事を進めていき、予定では令和13年度に完成する計画です。</p>	建設経済部

項目	テーマ	市の回答	担当部署
さらに前へ！	治水・防災事業	<p>【建設経済部長】</p> <p>「流域治水プロジェクト」について、国・県・市が連携し、それぞれの管理区分において水害対策に取り組んでいます。国は一級河川の菊川及び牛淵川の本川において、川の中に堆積している土砂を取り除き川の流れを良くする河道掘削を実施していただいております、これまでに23万4千㎡の土砂を搬出しました。県におきましても、県管理の河川において、流れを阻害する雑木の除去や川の底を浚渫していただいております。市は浸水被害が頻発する市南部地域への雨水貯留施設の整備などに取り組んでいます。治水は非常に長い年月がかかるもので、すぐに効果を感じられるものではございませんが、確実に対策を進めてまいります。</p>	建設経済部
さらに前へ！	治水・防災事業	<p>【建設経済部長】</p> <p>「河道掘削」について、国が管理する河川において、現在までに23万4000㎡の土砂を搬出していただきました。今後60万㎡くらいまで実施する計画をいただいております、引き続き国に要望してまいります。</p>	建設経済部
さらに前へ！	治水・防災事業	<p>【建設経済部長】</p> <p>「菊川上流部はいつ頃土砂の取り出しをやってもらえるのか」について、河道掘削について、いつ、どの場所を実施するのか確認できていませんが、国土交通省では60万㎡まで土砂搬出の計画をしていただいております。基本的には、下流側から実施していくことになると思いますが、川の流れを悪くするような場所があれば、優先的に実施していくことになるかと思っております。引き続き、国土交通省に対して早期に実施していただけるよう要望してまいります。</p>	建設経済部
さらに前へ！	治水・防災事業	<p>【建設経済部長】</p> <p>「河道掘削で出た土砂はどのように処理されるのか。この土砂で堤防のかさあげ等、氾濫する堤防を守ることはできないか」について、河道掘削した土は、現在は湖西の方まで運んで防潮堤等に利用されていると聞いています。全ての土が良質な土というわけではありませんので、場合によってはそれに改良を加えて、盛り土として使える土として利用していると思われます。この土を、堤防のかさあげ等に利用できないかという話ですが、このような意見をいただいたことを国や県とも共有していきたいと思っております。</p>	建設経済部

項目	テーマ	市の回答	担当部署
さらに前へ！	治水・防災事業	<p>【建設経済部長】</p> <p>「黒沢川の氾濫対策」について、黒沢川排水ポンプ場の施設状況、河川状況を確認しながら、いざというときには、国交省のポンプ車を派遣していただくなどして、対応させていただきたい。</p>	建設経済部
さらに前へ！	治水・防災事業	<p>【建設経済部長】</p> <p>「江川の水門ポンプ、これを大型電磁弁とかで制御することはできないか」について、江川の排水機場について日ごろからご協力いただき感謝を申し上げます。なかなか電子制御というわけにはいかないものですから、今は人の手でポンプを回していただいています。国としても、遠隔操作等について検討はしているようですが、お金もかかることとなります。今のところは、やはり河道掘削の方に力を注いでいただいている状況であります。このようなお話があったことも、国に繋げてまいりたいと思います。</p>	建設経済部
さらに前へ！	治水・防災事業	<p>【建設経済部長】</p> <p>「治水に対する市の予算額と全体に占める割合はどのくらいか」について、治水に関する市の予算につきましては、河川管理等に関する市の予算はありませんが、国に河道掘削を実施していただいたり、県が管理する河川の工事を実施していただくことで、市内の治水対策を図っています。市としては、浸水被害が多発する地域に今後、雨水貯留施設の整備を検討しており、こういった部分にはしっかり予算をとって対応していきたいと考えています。浸水被害を軽減するためには、やはり河道掘削が非常に重要であると考えています。河道掘削により水位の低減効果があり、それは菊川の上流にもつながっていきますので、引き続き国や県に積極的に要望をしてまいります。</p>	建設経済部
さらに前へ！	治水・防災事業	<p>【総務部長】</p> <p>「防災対策強靱化事業」について、菊川市では本年度、防災対策強靱化事業基本構想をまとめ、12月に市議会へ説明させていただきました。基本構想の中には、大きく分けて2つの事業があります。一つは、大雨による浸水被害が頻発する市南部地域の浸水・冠水対策を進めるものです。黒沢川・棚草川に隣接する区域に、雨水を一時的に貯める雨水貯留施設を整備します。まずは岳洋中学校の校庭などを利用した校庭貯留施設の整備に向けた準備を進めていきます。もう一つが、市役所本庁舎周敷地一帯の防災機能を高めるものです。災害発生時には、市役所に設置する災害対策本部に、警察や消防、自衛隊などの関係機関が集まり、防災対策の中心となります。いざという時に、災害対策本部が被害を受けるようなことはあってはいけませんので、新たな災害対策本部棟を作ろうというものです。また、教育委員会が進めているスポーツ進行計画の中で、堀之内体育館を建て替える方針が出ましたので、堀之内体育館の建て替えに併せて、災害対策本部棟を新築しますこの二つの柱によって、防災対策の強化を図っていきます。</p>	総務部

項目	テーマ	市の回答	担当部署
さらに前へ！	治水・防災事業	<p>【危機管理部長】</p> <p>「市役所本庁舎周敷地一帯の防災機能強靱化」について、市役所本庁舎敷地内で現在使用されていない北館と、建て替えが必要な堀之内体育館を解体し、災害対策本部棟と体育館を災害の拠点として一体的に整備していく計画です。災害対策本部棟には、本庁舎から危機管理課が移転し、必要な機材や自家発電装置を整備し、災害の要となるような施設を作ります。また、大規模な災害が発生すると、自衛隊や警察などから、さまざまな部隊が集まります。関係機関と連携して対策を進めるため、体育館を実働部隊などの待機施設としても活用していきます。さらに、旧の町部地区センターも解体し、平時には市役所の駐車場として、災害時には関係機関の車両等を駐車するスペースとしても使えるようにし、市役所本庁舎を中心に災害対策が円滑に図れるよう進めていきます。</p>	危機管理部
さらに前へ！	菊川市の財政状況	<p>【企画財政部長】</p> <p>「菊川市の税収増について、何か対策は考えているか」について、住民税や固定資産税などの税収を増加させるためにも、人口を確保することは、非常に重要であると考えています。そのためには、まず働く場所が必要。また、若い世代の方たちに定住してもらうための補助金や、結婚するとき低所得の方に補助金の制度なども行っている。菊川市のアピールとしては、「茶畑の中心で愛を叫ぶ」「菊川産業祭」など、イベントを活用した情報発信や、菊川駅南北自由通路の開通により、駅北側の利便性が向上し、居住地として菊川を選んでいただく方が増加する可能性があると考えています。こうしたさまざまな取組を進めることで、簡単ではありませんが市の人口を増やしながらか税収を確保し、持続可能な街づくりをしていきたいと考えています。</p>	企画財政部
その他	道路整備	<p>【建設経済部長】</p> <p>「県道や市道の歩道部分の草が気になる。自治会では定期的に除草作業をしているが、市としてはどのように考えているか」について、地域の皆さまには、定期的な除草にご協力をいただき本当にありがとうございます。県道については県が事業者が発注し除草しており、市道についても幹線道路等については事業者が発注して除草していますが、小規模な部分は市が雇用する会計年度職員等で対応しております。地域内で通学路や交通に非常に支障になっている場所がありましたら、建設課に言っていただければ、なるべく早い時期に対応できるよう努めていきたいと思っています。ただ、草が生えるスピードも早く、管理する範囲も非常に広いため、すぐに対応できない場合もあるかと思いますが、ご理解をいただければと思います。また、引き続き自治会の皆様にも御協力をいただきますようお願いいたします。</p>	建設経済部

項目	テーマ	市の回答	担当部署
その他	都市計画	<p>【建設経済部長】</p> <p>「都市計画税は、なぜ全地区に求めないか」について、都市計画税は、用途地域内の皆さんから課税標準額0.3%をいただいております。年間では3億円ほどの額となります。都市計画の用途地域は、基本的に人口が集中している地域ということで、その中の都市計画事業に対して、都市計画税を充てています。全地域でという話ではございますが、目的を持った税ということで、小笠地域でいえば例えば青葉通り嶺田線の整備など、必要な都市計画事業に対して、都市計画税を充当させていただいております。</p>	建設経済部
その他	都市計画	<p>【建設経済部長】</p> <p>「下本所地区の工業導入地について進捗状況を知りたい」について、市内全域に工業導入地域があり、商工観光課で紹介しているところです。県の東京事務所を通じた紹介や、大手のディベロッパーへのヒアリング等は実施していますが、今のところ進出したという声がないのが現状です。過去に一度、メーカーさんから問い合わせがあり、検討していただきましたが、山がかなり高いということで事業費が高くなってしまいうことで計画を断念したこともありました。引き続き、さまざまところに情報提供しながら、PRを進めてまいります。</p>	建設経済部
その他	環境	<p>【生活環境部長】</p> <p>「環境資源ギャラリーの現況と今後の動向」について、菊川市と掛川市の両市では、新処理施設の整備に関し、様々な専門分野に携わる委員の皆さまによる「新施設 整備検討委員会」を設置し、昨年3月21日から、新施設整備に関する検討を行ってまいりました。検討委員会の開催状況については、西方地区環境対策委員会の皆さまに対し、5月17日に中間報告をさせていただき、その後、8月15日には「新施設整備に関する市の考え方」を説明させていただきました。市では、検討委員会からの提言と地元住民の皆さまのご意見を踏まえ、「産業廃棄物の受け入れをせず、現在と同じ一般廃棄物のみを処理する施設として建設する」ことなど、6項目の整備方針を決定しました。8月19日には市議会全員協議会で市の整備方針が了承され、9月21日には衛生施設組合議会全員協議会において、組合としての整備方針が了承されたところでございます。現在、組合では、新処理施設にかかる整備基本計画の策定業務について、委託業者を決定し、基本計画の策定作業を進めております。この整備基本計画では、新施設のごみ処理方式や、施設の配置計画、概算事業費など、新施設整備を進める上での基本となる事項の検討のほか、現施設にかかる今後の使用についても詳細な検討を進め、令和5年10月頃までに基本計画をまとめていく予定となっております。併せて、組合・両市では、5年度にかけて、廃棄物処理にかかる地域計画の策定や生活環境影響調査などを進め、令和12年4月の供用開始を目標に進めてまいります。</p>	生活環境部

項目	テーマ	市の回答	担当部署
その他	環境	<p>【生活環境部長】</p> <p>「世帯やアパートが増えて、量が地区のゴミステーションに入らない。アパートには専用のゴミステーションの設置を義務付けてほしい」について、地域のごみステーションに入らないケースとして、世帯数やアパートなどが増えている問題と、ごみの出し方の問題が考えられます。世帯数に対して広さが十分でないようなら環境推進課へ相談していただければと思います。ごみの出し方については、ごみの出し方に関する冊子の配布や、出前講座の実施などにより周知していきます。アパートへの専用ゴミステーションの設置につきましては、アパートを建設する際に、市からごみの問題に限らず、いろんな課題を事前に確認していますので、地域の状況により管理会社等へ確認してまいります。いずれにしても、CO2削減の観点でごみを減量する、有効活用ができないかが課題になりますので、アパート等に居住されている方への周知等も含めて、いろいろ考えてまいりたいと思います。</p>	生活環境部
その他	健康福祉	<p>【健康福祉部長】</p> <p>「菊川市として健康年齢の統計がない。健康を維持する具体的な行事や施策をたくさん実施してほしい」について、健康に関する資料なんですけれども、先日県から令和元年度のお達者度が公表されました。お達者度とは、65歳の平均自立期間（自立して健康に生活できる期間）で、菊川市は県内で2番目に高いという結果でした。非常に良い結果だったので、しっかり情報発信していかなければならないと考えています。菊川市は介護認定率が低く、元気に生活できる時間が長いということになりますので、現在実施している介護予防や健康への取り組みがとても大事だと考えています。菊川市では菊川体操というものを実施しており、各地区のサロン等で実施されています。また、今年度（株）南山堂様よりいただいた寄附を活用し、出張健康相談が実施できるよう企画しています。健康に関する機器を準備させていただき、各地区へお伺いできればと考えています。</p>	健康福祉部
その他	健康福祉	<p>【健康福祉部長】</p> <p>「福祉や医療に関する説明がなかったが、どのような方針、施策を考えているか」について、高齢者支援につきましては、地域との繋がりを持っていただくため、地域住民の皆さんのご協力により各地区で高齢者サロンを開催いただいています。市が実施する高齢者サービスとして「緊急通報システム」の設置を支援しています。一人暮らしだけでなく、高齢者のみの世帯には、希望により緊急通報システムを設置させていただき、困ったときにボタンを押すことで、あらかじめ登録しておいた身内の方や、消防署に繋がるようになっていきます。その他にもさまざまなサービスを実施していますので相談いただければと思います。また、困った時にどこへ相談して良いかわからないという方もいらっしゃると思います。高齢者に関しては、地域包括支援センターがありますので、まずはどんなことでも相談していただければと思います。また、内容によっては福祉課や、社会福祉協議会へ直接お電話いただいても結構ですし、地域に民生・児童委員さんもいらっしゃいますので、そういう身近な方を通じて相談していただきましたら、可能な限り支援させていただきますという思いで取り組んでいます。</p>	健康福祉部

項目	テーマ	市の回答	担当部署
その他	健康福祉	<p>【総務部長】</p> <p>「各コミ協で福祉活動に取り組むボランティアを担う人が減少し活動が停滞している地区が多いが対策は」について、各地区のコミュニティ協議会では、いわゆる地区社協というような形で福祉活動にかかわりを持たせていただいております。それから各地区に福祉団体があり、それぞれの地域の方々が、それぞれの地域のご高齢の方に対するさまざまな活動をしていただいております。自治会の高齢化というお話もございましたが、こうしたボランティアの成り手が減っているというのが現状です。奨励金というお話もありましたが、例えば1%交付金というメニューもご用意させていただいておりますので、コミュニティ協議会としての活動はもとより、福祉活動を行う地域作り団体様もいらっしゃいますので、そういう方々に、情報提供しながらこの1%交付金を有効に活用していただくこと。また、市内で地域福祉取り組んでいる団体さんもありますので、そういった団体に地域の活動にかかわっていただくということも考えられます。そうした中で地域福祉の向上、あるいは継続的な取組となるよう進めてまいりたいと考えています。</p>	総務部
その他	地域コミュニティ	<p>【総務部長】</p> <p>「コロナの影響で停滞しているコミュニティ活動について市としてどのような対策を考えているか」について、令和2年、3年は新型コロナの影響により、地域コミュニティ活動が停滞し、地域の皆さんが顔を合やす機会が減っていました。このような中ではありますが、多くの皆様に協力いただき、本年度は10月、11月を中心に各地区の地区センターまつりが、11月13日にはアエルで産業祭が開催され、市民の皆さんの笑顔を見ることができ、人の繋がりや、地域コミュニティ活動の必要性を改めて感じました。市といたしましては、1%地域づくり活動交付金を活用し、引き続きコミュニティ活動や、市民団体の活動を支援してまいります。また、本年度につきましては、地域コミュニティの活性化に向け、各コミュニティ協議会へのアドバイザー派遣や、交流会・講座の開催、地域の防災力向上に繋がるモデルイベント開催等の事業を行っています。平常時における地域の繋がりはもちろん大事なことです。災害時に顔の見える関係というのは非常に重要です。そのため、市ではコミュニティ活動の活性化に繋がる取組を続けてまいります。</p>	総務部

項目	テーマ	市の回答	担当部署
その他	地域コミュニティ	<p>【総務部長】</p> <p>「自治会の高齢化、役員不足」について、これまでもご意見、ご要望をいただいています。都度、対応を検討してまいりましたが、なかなか抜本的な対策につながらず申し訳ございません。以前は、会社にお勤めの方は60歳で定年を迎えられ、地域の方に入られるケースが多くありましたが、再雇用という形で引き続き会社に勤める方が増え、なかなか自治会役員のなり手がいない状況です。まず、自治会長をはじめ、役員の皆さんが負担に感じている1つが、配布文書が多すぎるということです。もう1つは、出席するイベントや会合が多いというご意見が寄せられています。市では、令和2年度から、全庁を挙げて自治会の負担軽減に取り組んでまいりました。庁内会議を重ね、連合自治会の皆さまにもご相談させていただき、「自治会負担軽減に向けた取組み方針」を策定させていただきました。この方針に基づき、できるところから自治会の負担軽減を進めていこうと取り組み始めたところです。具体的な取組として、地区や自治会から選出いただく役員や委員について、選出のサポートをさせていただくこと、来賓として出席いただく機会を可能な限り減らしていくこと、配布物について広報紙に掲載したものは班回覧することは控えることなどです。少しずつではありますが、こうした負担軽減に継続して取り組んでまいりたいと考えています。高齢化につきましても、それぞれの自治会で高齢化が進んでなかなか地域の活力を取り戻せないというご相談もあります。地域の活力を生み出すための取り組みにつきましても、地域支援課で進めています。地区センターを核にした地域づくりについて皆さんと一緒に進めて参りたいと考えておりますのでよろしくお願い申し上げます。</p>	総務部
その他	スポーツ振興	<p>【教育文化部長】</p> <p>「市立体育館の整備」について、菊川市には現在、堀之内体育館、総合体育館、小笠体育館の3つの市立体育館があります。今後、市立体育館をどのようにしていくか等について、今年度スポーツ推進審議会を中心に検討いただいています。今年度中にはある程度の方向性を出し、来年度以降に整備等に向けて進めていきたいと考えています。計画等が決まりましたら、周知していきたいと考えています。</p>	教育文化部長
その他	原発	<p>【危機管理部長】</p> <p>「原発問題」について、市としては浜岡原子力発電所の再稼働を考える以前に、まずは安全対策を十分に行っていただきたいということを国や事業者へ要望しています。御前崎市、牧之原市、掛川市、菊川市の4市対協としても、国に対して安全対策の実施と、広域避難計画の実効性を高めるよう要望しています。実際に市民の方が安全に避難できる方法について、国や県の協力は不可欠です。市としては、想定される避難先へ職員が出向き、直接相手の市へのお願いや、さまざまな交渉を進めているところです。</p>	危機管理部

項目	テーマ	市の回答	担当部署
その他	文化振興	<p>【教育文化部長】</p> <p>「菊川市の歴史に対する取組」について、菊川市では文化財や歴史について、文化振興計画を策定しています。この計画に基づき、歴史・文化・遺跡の保護や、地域の歴史、伝統文化の継承、人材育成などの取組を進めています。新たな事業として歴史検定の実施を検討しており、小学生から大人まで、多くの皆さんに菊川の歴史を知っていただき、楽しく郷土を学んでいただこうと考えています。また、文化財の保存にも力を注いでおり、国指定文化財の応声教院山門の保存修理について、国の補助金を活用し進めているところです。11月には、市内に残る徳川家康の伝説に触れながら市内の文化財を巡る文化財ウォークも開催させていただきました。今後も、地域の歴史を重んじて、引き継いでいくための事業を進めていきたいと考えておりますので、良い案がございましたら、ご提案などいただければと思っています。よろしく申し上げます。</p>	教育文化部
その他	デジタル化	<p>【企画財政部長】</p> <p>「デジタル社会に向けての取組」について、現在は市民の皆さんからの申請を「電子申請（オンライン申請）」とし、市役所に来なくても申請ができるように、申請の種類を増やしています。その中で、なるべく簡単な手順で、分かりやすく申請ができるようなオンラインの申請フォームとなるよう配慮したり、案内通知にQRコードを掲載し、申請のページに入れるようにするなどしています。これまでもコロナワクチン接種の予約や、現在もマイナポイントの申込など、窓口でのサポートを実施してきましたが、今後、市民の皆さんの操作が必要なシステム等を導入する際には、普段デジタルを利用しない方でも分かりやすいシステムの導入や窓口での説明に配慮してまいります。また、やはりオンライン申請が苦手という方もいますので、電話や窓口による受付なども並行して実施していくことになります。今後も市民の皆さまの利便性の向上や市役所業務の効率化につながるようICT、デジタル化を進めていきます。また、高齢者等へのフォローにつきまして、市民の皆さまへの情報発信については、これまでの同報無線、ホームページに加え、LINE、TwitterなどのSNSに加え、テレビのdボタンを使った情報の提供も始めました。特に大雨などで同報無線が聞き取りにくい、SNS・スマートフォンが苦手といった皆さんにご利用いただきたいと思っております。</p>	企画財政部
その他	子育て支援	<p>【こども未来部長】</p> <p>「子育て支援」について、菊川市では現在、結婚から切れ目のない子育て支援に取り組んでいます。生後4か月までのすべての乳児家庭を訪問し、親子の心身の状況等を確認する「乳児家庭全戸訪問事業（こんにちは赤ちゃん事業）」を実施していますが、今年度から子どもの名前が入られるオリジナル絵本のプレゼントを始めました。絵本を、お子さんと一緒に読んでいただき、親子のコミュニケーションツールとして利用していただくことや、本に親しむきっかけづくりとなればと考えています。また、経済的な支援も必要ということで、妊娠届けを出したときや、出産したときに育児用品を購入する支援をするといった事業が、国から示されていますので、こういった取り組みも進めていきたいと考えています。また、待機児童の解消や、安全して子育てできる環境づくりに、引き続き取り組んでまいります。</p>	こども未来部